

株主の皆様へ

第**106**期 報告書

2019年2月1日～2020年1月31日



スバル興業株式会社

証券コード：9632

株主の皆様へ



取締役社長

永田 泉治

第106期の業績は好調に推移し、各段階の利益において過去最高益を更新いたしました。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。さて、当社グループの第106期（2019年2月1日から2020年1月31日まで）の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概要等をご報告申し上げます。

当社グループは、新たな3か年計画『中期経営戦略2019－2022 TRY！2022』を策定し、さらなる企業価値の向上に努めました結果、初年度の業績は、各段階の利益において過去最高益を更新いたしました。

なお、第107期より「配当政策」を一部変更し、1株当たりの年間配当ベースを200円とし、業績が予想や目標を上回って推移した場合には、業績連動分として追加配当も検討していく方針といたします。

また、『有楽町スバル座』は多くの映画ファンに見守られながら、2019年10月に閉館いたしました。長きにわたり、株主の皆様にご支援・ご愛顧いただきましたことに心より御礼を申し上げます。

2020年4月

財務ハイライト (連結)

経営成績の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、製造業を中心に弱さが増しているものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、各事業において業績の向上に努めました結果、当連結会計年度における売上高は272億1千1百万円（前期比8.1%増）、営業利益は40億9千万円（前期比33.6%増）、経常利益は41億2千9百万円（前期比43.2%増）、親

会社株主に帰属する当期純利益は、『銀座スバルビル』の売却益を計上したこともあり、31億7千7百万円（前期比74.6%増）となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、売上高269億2千万円、営業利益38億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益25億5千万円を見込んでおります。

売上高 27,211百万円
(前期比 8.1%増)

(単位：百万円)



営業利益 4,090百万円
(前期比 33.6%増)

(単位：百万円)

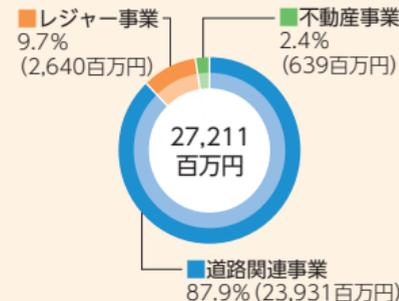


親会社株主に帰属する当期純利益 3,177百万円
(前期比 74.6%増)

(単位：百万円)



セグメント別売上高構成



営業の概況

道路関連事業

売上高 23,931百万円 (前期比2,152百万円増)
セグメント利益 4,531百万円 (前期比1,256百万円増)

主な事業

- 道路・橋梁・河川 維持工事
- 道路環境関連製品の販売
- 橋梁・構造物等の設計業務
- 道路・河川 保全作業
- 有料道路等の売店経営
- 太陽光発電事業

道路関連事業は、公共投資が堅調に推移しましたが、労務費および資機材価格の上昇、慢性的な建設技能者の不足や企業間における受注競争の激化等により、依然として予断を許さない状況が続きました。このような状況のなか、当社グループは、積算精度の向上や入札における総合評価方式への対応強化を図るとともに、既存工事の増工や追加受注に繋げるべく積極的な技術提案を行いました。また、安全管理に重点を置き、高速道路のリニューアル工事や緊急性の高い災害復旧工事等の維持補修工事において、原価管理の徹底によるコストの削減や業務の効率化に努めました結果、道路関連事業は増収増益となりました。



橋梁点検作業



吸音板取付作業

レジャー事業

売上高 2,640百万円 (前期比115百万円減)
セグメント利益 137百万円 (前期比4百万円減)

主な事業

- 映画興行
- 飲食店経営
- 飲食物品等販売
- マリーナの運営

映画興行事業は、通常興行として期中に邦画14作品、洋画3作品の計17作品を上映し、「ある町の高い煙突」「愛がなんだ」「みとりし」等が人気を博しました。また、期中10月の『有楽町スバル座』閉館に際し、「スバル座の輝き～メモリアル上映～」と題した特別興行を行い、「イージー・ライダー」「ローマの休日」等、映画史を飾った45作品を上映し、多くの映画ファンに見守られながら同事業73年の歴史に幕を下ろしました。同館の閉館に伴い、映画興行事業が終了したことにより、売上高は前期を下回りました。

飲食事業は、人件費の上昇や原材料価格の高止まりが続くなか、大型台風が相次ぐ等の天候不順や消費税率引上げ等の影響により、依然として厳しい事業環境が続きました。このような状況のなか、飲食店では、顧客サービスの充実や収益性の向上を目的とした既存店舗の改装を図り、物品販売では、販路拡大に向けた積極的な営業活動を実施し、炭酸飲料水等の販売が好調に推移しましたが、飲食店舗減少の影響もあり、売上高は前期を下回りました。

マリーナ事業は、『東京夢の島マリーナ』『浦安マリーナ』における年間契約の船舶係留数が高水準に推移したことに加え、船舶修繕業務や「イーノの森」内のバーベキューステーション等が好調に稼働しましたが、台風の影響により、マリンイベントが中止になる等、施設利用者が減少したこともあり、売上高は前期並みとなりました。

以上の結果、レジャー事業全体では減収減益となりました。

不動産事業

売上高 639百万円 (前期比10百万円増)
セグメント利益 303百万円 (前期比43百万円減)

主な事業

- 賃貸ビル
- 賃貸倉庫
- 賃貸駐車場
- 土地の賃貸

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』をはじめとした各賃貸物件が堅調に稼働し、売上高は前期並みとなりましたが、『新木場倉庫』等において改修工事を実施した影響もあり、セグメント利益は減益となりました。なお、期中7月に静岡県御殿場市内に、同8月に岡山県倉敷市内にそれぞれ事業用地を取得し、賃貸を開始しております。

会社の概況

会社概要 (2020年1月31日現在)

設 立	1946年2月9日
資 本 金	1,331百万円
主要な事業所	45か所
従 業 員 数	227名(連結619名)
U R L	https://subaru-kougyou.jp
本 社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861 (代表)
関 西 支 社	〒530-0053 大阪府大阪市北区末広町3番21号 TEL 06-6313-4501 (代表)
主な事業内容	道路および道路附帯設備の維持・清掃・補修工事の請負、 有料道路等の売店運営業務の受託、 橋梁・構造物等の設計業務、太陽光発電事業、 飲食・物販等の事業、マリーナの運営事業、不動産賃貸業

取締役 (2020年4月28日現在)

代表取締役会長	小 林 憲 治
代表取締役社長	永 田 泉 治
専務取締役	松 丸 光 成
常務取締役	堀 内 信 之
常務取締役	石 塚 泰
取締役	今 沢 宏 之
取締役	竹 島 美 喜
取締役	上 野 俊 明
取締役	大 西 政 樹
取締役	太 古 伸 幸
取締役	社外 独立 宮 家 邦 彦
取締役 (常勤監査等委員)	社外 独立 遠 藤 信 英
取締役 (監査等委員)	社外 独立 野 元 三 夏
取締役 (監査等委員)	社外 独立 上 村 多 恵 子

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
(資産の部)		
流動資産	14,934	18,704
固定資産	11,880	11,850
有形固定資産	9,022	9,274
無形固定資産	693	621
投資その他の資産	2,163	1,954
資産合計	26,815	30,554

POINT
1

科 目	前 期	当 期
(負債の部)		
流動負債	3,492	4,550
固定負債	1,088	1,087
負債合計	4,580	5,638
(純資産の部)		
株主資本	22,142	24,825
その他の包括利益累計額	5	4
非支配株主持分	86	86
純資産合計	22,234	24,916
負債純資産合計	26,815	30,554

POINT
1

POINT
1

POINT
1

当連結会計年度末の総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加、土地の取得等により前連結会計年度末に比べ3,739百万円増加となりました。負債は未払法人税等、未成工事受入金の増加等により前連結会計年度末に比べ1,057百万円増加となり、純資産は利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ2,681百万円増加となりました。なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度に係る金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
売上高	25,164	27,211
営業費用	20,292	21,120
売上総利益	4,872	6,090
一般管理費	1,809	2,000
営業利益	3,062	4,090
営業外収益	44	46
営業外費用	223	6
経常利益	2,883	4,129
特別利益	71	612
特別損失	31	33
税金等調整前当期純利益	2,924	4,708
法人税、住民税及び事業税	1,084	1,558
法人税等調整額	△10	△27
当期純利益	1,850	3,177
非支配株主に帰属する当期純利益	30	0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,820	3,177

POINT
2

POINT
2

POINT
2

POINT
2

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
営業活動による キャッシュ・フロー	2,174	3,543
投資活動による キャッシュ・フロー	△940	△6
財務活動による キャッシュ・フロー	△708	△501
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	524	3,035
現金及び現金同等物の期首残高	6,878	7,402
現金及び現金同等物の期末残高	7,402	10,438

POINT
2

当連結会計年度の売上高は、道路関連事業23,931百万円、レジャー事業2,640百万円、不動産事業639百万円の合計27,211百万円（前期比8.1%増）となり、営業利益は4,090百万円（前期比33.6%増）、経常利益は4,129百万円（前期比43.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,177百万円（前期比74.6%増）となりました。

株式の状況 (2020年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数：4,000,000株

発行済株式の総数：2,662,000株

株主数：3,909名(前期比 -317名)

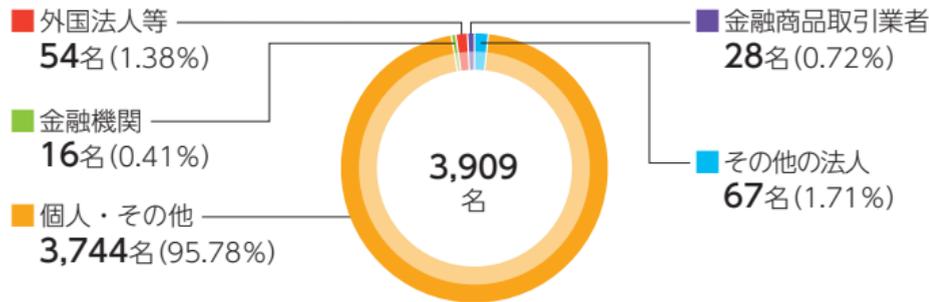
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東宝株式会社	1,360	52.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	88	3.45
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	84	3.26
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	60	2.33
MSIP CLIENT SECURITIES	32	1.26
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	28	1.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	25	0.97
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	23	0.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22	0.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	17	0.67

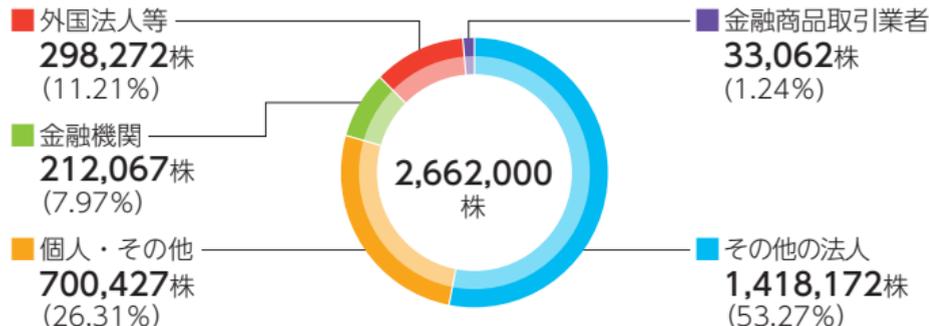
(注) 1. 当社は、自己株式92,266株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除し、小数点第2位未満を切捨てて表示しております。

株式分布状況

株主数



株式数



当社飲食店のご案内 (2020年4月28日現在)

■ 和 食 店

① そば処 竹むら

東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルB1

■ イタリア料理店

② ラ・ベルデ有楽町店

東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビルB1

③ ラ・ベルデ日比谷店

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビルB1

④ ラ・ベルデ大手町店

東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエアB1

■ 南イタリア・シチリア料理店

⑤ エトナマーレ

神奈川県横浜市神奈川区金港町1-10
横浜ベイフォーター4F

■ 喫 茶 店

⑥ ドトールコーヒーショップ大山サンロード店

東京都板橋区大山東町52-2

⑦ ドトールコーヒーショップ新青山ビル店

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビルB1

⑧ ドトールコーヒーショップ 大手町フィナンシャルシティ店

東京都千代田区大手町1-9-7
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー-B1

⑨ ドトールコーヒーショップ大宮駅前店

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-8-1
ベルヴェオフィス大宮1F

■ ダイニングレストラン

⑩ MARINA & GRILL

東京都江東区夢の島3-2-1 東京夢の島マリーナ内

① そば処 竹むら



② ラ・ベルデ有楽町店



④ ラ・ベルデ大手町店



⑤ エトナマーレ



⑨ ドトールコーヒーショップ大宮駅前店



⑩ MARINA & GRILL





TOHOシネマズ ギフトカード

TOHOシネマズでのチケット購入、ご飲食、グッズ購入にご利用いただけるプリペイド式のカードです。

全国の『TOHOシネマズ』においてご利用可能

ご利用方法やご利用可能劇場については、同封の「TOHOシネマズ ギフトカードのご案内」をご覧ください。

ご注意

有効期限あり：2020年5月1日（金）より1年間ご利用できます。

株式 保有数	2020年1月以降 毎年1月末日※	
	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
100株以上	2,000円分	3,000円分
200株以上	3,000円分	4,000円分
300株以上	4,000円分	5,000円分

継続保有期間3年以上とは、基準日(※1月末日)の株主名簿に同一株主番号で連続して4回以上記載または記録されていることといたします。

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めの日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://subaru-kougyou.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

スバル興業株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号
TEL 03-3213-2861(代表)

ホームページのご案内

<https://subaru-kougyou.jp>



お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。
 - それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
- ※・証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。
・当社は単元未満株式の買増請求は行っておりません。

2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求を除き、特別口座のままでは売買することができません。売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

- 特別口座から一般口座への振替のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

3. 配当金の受取方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口にて「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に代え、**銀行預金口座への振込**の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれます銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

- 配当金の振込指定のお手続き
▶ 口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

